

## 「自治体学」29-2号における編集・印刷で生じた問題の経緯

1) 松本武洋和光市長の入稿原稿では、文章末に以下の文言がありました。

「なお、平成27年4月に策定した「和光市教育大綱」でも、教育と福祉、教育と地域の連携を強調しているように、地域包括ケアシステムは福祉分野全体だけでなく、実際には市政全体とのつながりを深めつつある。」

2) 印刷会社からの初校段階で上記の「なお・・・・ある。」の部分が、6行分ほどがあふれていましたが、その溢れた分が表示されないような設定になっていました。

編集部会担当者が文字溢れと非表示に気づかず、著者校正を依頼してしまい、6行分がカットされたゲラを基に著者校正が行われ校了となってしまいました。

3) 印刷会社が3校を出す段階で、このゲラのあるセクション全体の設定を変更したために行間が詰まり、溢れていた6行分のうち数行分だけが、中途半端に復活してしまいました。

しかし、著者校了稿との差異に編集部会担当者が気づかず、印刷会社側も問題に気付かず、そのまま印刷入稿になってしまいました。

というのが一連のミスの経緯でございます。

2016年4月16日

編集部会長 日下 文隆